

千葉県（2社）JICA 中小企業・SDGs ビジネス支援事業に採択 ～千葉の醤油（インド）と気象予測（ベトナム）で海外事業展開！～

国際協力機構（JICA）は、2月20日、「中小企業・SDGs ビジネス支援事業（ビジネス化実証事業）」（下部※参照）において、ちば醤油株式会社（千葉県香取市、飯田 恭介 代表取締役社長）と株式会社ウェザーニューズ（千葉県千葉市、草開 千仁 代表取締役社長）が提案する2件を採択しました。詳細は、以下のとおりです。

●ちば醤油株式会社「インド国 日本伝統の麴(こうじ)を活用した大豆加工産業育成にかかるビジネス化実証事業」

インドでは日本式の本醸造醤油は、認知度が極めて低い調味料ですが、今後インドの経済発展と食の多様化により、急速に普及すると予想されます。麴を活用した日本の伝統的な醤油づくりをインドで展開するための第一歩として、ちば醤油株式会社は基礎調査(昨年度までの制度。実施期間 2022年3月～2023年2月)において、インドの醤油のニーズやパートナー候補を調査しました。ビジネス展開に向けた更なるステップとなるビジネス化実証事業では、マーケティング戦略の策定、現地で麴の発酵や麴から醤油を醸造する実証実験を行います。手作りで麴の発酵技術と醤油の醸造技術を移転することにより、インドの大豆加工産業育成に資するビジネス展開を目指すとともに、SDGs ゴール1「貧困をなくそう」、ゴール8「働きがいも経済成長も」の達成も目指します。



インドでの基礎調査における現地企業との協議風景。

●株式会社ウェザーニューズ「ベトナム国異常気象リスクへの関心度およびその対応策にかかるビジネス化実証事業」

日越関係は、2009年の二国間経済連携協定（EPA）の発効後、2015年には戦略的なパートナーシップへと協力関係を発展させ、多くの日系企業も進出しています。ベトナムでは急速な工業化、経済成長を遂げる中、気候変動などの脅威への対応が課題となっています。提案事業では、ベトナムの主要工業地帯において、雨・雷などの気象予測情報及びアラートを工業団地管理会社及び入居企業・工場に提供し、現地工業団地の安定稼働に寄与する

ことを目的とした気象サービス事業のビジネス化のため実証事業を行います。本事業を通じて SDGs ゴール 13「気候変動に具体的な対策を」の達成に貢献します。株式会社ウェザーニューズは、世界約 50 か国とグローバルにサービス展開する一方、地元千葉でも千葉市と連携し、気候変動による危機に対する啓発動画の作成や環境イベントの開催を実施しています。



ベトナム気象水文総局と気象レーダー提供にかかる協定を 2022 年 4 月に締結。提案事業を通じて同局との連携を今後も深めます。

※ 本事業は、中小企業・SDGs ビジネス事業「ビジネス化実証事業」として実施されます。同事業は、途上国の課題解決に貢献し得る技術・製品・ノウハウ等を活用したビジネスアイデアや ODA 事業での活用可能性の検討、ビジネスモデルの策定を目指すものです。詳細は、文末にある関連リンクをご参照ください。

【関連リンク】

「中小企業・SDGs ビジネス支援事業」概要:

https://www.jica.go.jp/priv_partner/activities/index.html

2022 年度採択についての記事:

https://www.jica.go.jp/press/2022/20230220_41.html

ちば醤油株式会社基礎調査記事:

<https://www.jica.go.jp/tokyo/topics/2022/dnb8qn0000003r42.html>

<https://www.jica.go.jp/tokyo/topics/2022/dit50g00000036e2.html>

【問い合わせ先】

JICA 東京 市民参加協力第一課

担当：楠根（ちば醤油株式会社様案件）

清水（株式会社ウェザーニューズ様案件）

TEL:03-3485-7680

JICA東京ウェブサイト

<https://www.jica.go.jp/tokyo/>